ボーリング柱状図

調　査　名　モノレール千葉公園駅舎昇降機設置地質調査業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No.1	**調査位置**	千葉市中央区弁天3丁目地内外			**北　緯**	
発注機関	千葉市都市局建築部営繕課			**調査期間**	平成 22年 2月 5日 ～ 22年 2月 6日	**東　経**	
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	KBM -0.60m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方向**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	鉛直 水平0° 90° 0°
総掘進長	15.45m					**使用機種**	

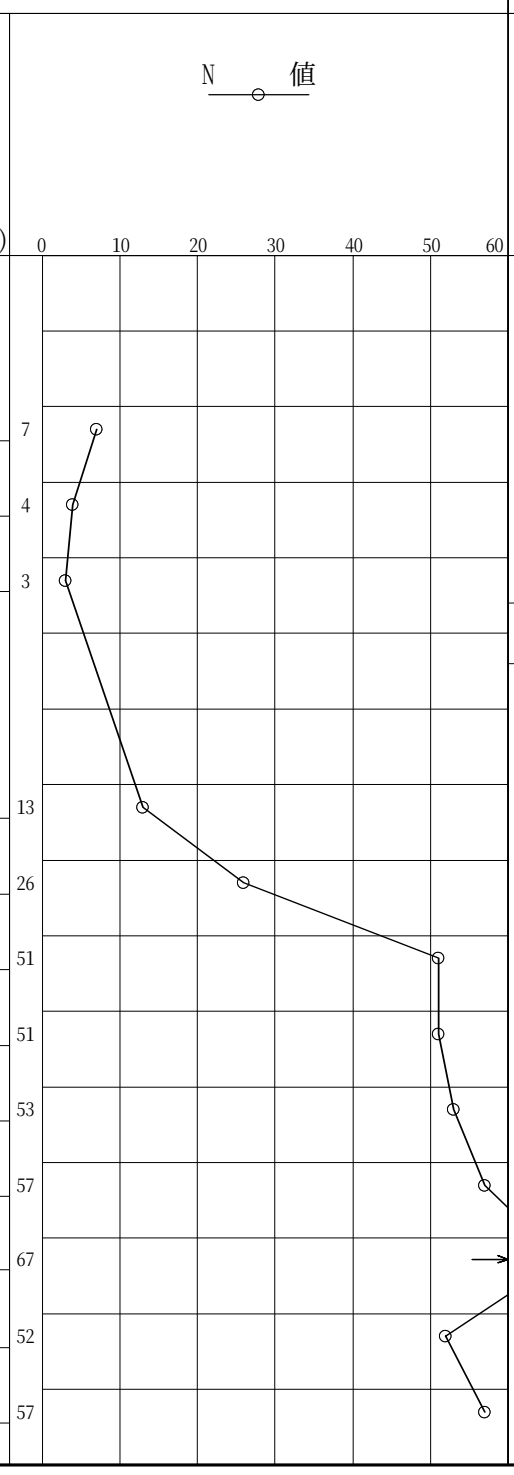
試錐機	ロータリー式オイルフィード	**ハンマー落下用具**	半自動落下
エンジン	水冷式ディーゼル	**ポンプ**	ピストンタイプ

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1					埋土	暗褐灰	緩い		表層はインターロッキング舗装。深度0.6mまで砕石。山砂を主体とする。ローム片が点在する。
2									
3	-3.60	3.00	3.00						
4					ローム	茶褐		軟らかい	均質である。含水中位である。粘性中位である。
5	-6.35	2.75	5.75						
6	-7.45	1.10	6.85		凝灰質粘土	褐灰			炭化物を混入する。粘性中位である。
7	-8.25	0.80	7.65		粘土質細砂	褐灰	中ぐらい		粘土分を全体に混入する。
8					細砂	暗褐灰	非常に密な		砂の粒径不均一である。含水中位である。
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15	-16.05	7.80	15.45						

孔内水位(m)／測定月日：2/5 5.81

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
2.15	2	2	3	7/30	7
2.45 / 3.15	1	1	2	4/30	4
3.45 / 4.15	1	1	1	3/30	3
4.45 / 7.15	3	4	6	13/30	13
7.45 / 8.15	7	8	11	26/30	26
8.45 / 9.15	13	17	21	51/30	51
9.45 / 10.15	13	18	20	51/30	51
10.45 / 11.15	13	18	22	53/30	53
11.45 / 12.15	16	20	21	57/30	57
12.45 / 13.15	22	22	16/7	60/27	67
13.42 / 14.15	14	18	20	52/30	52
14.45 / 15.15	13	19	25	57/30	57
15.45					



原位置試験

深度 (m)	試験名および結果
4.60	孔内水平載荷試験
5.40	

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
6.00	1T-1	Ⓣ	物理 一軸 三軸 圧密	
6.75				
				2/5
				2/6

ボーリング柱状図

調　査　名　モノレール千葉公園駅舎昇降機設置地質調査業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

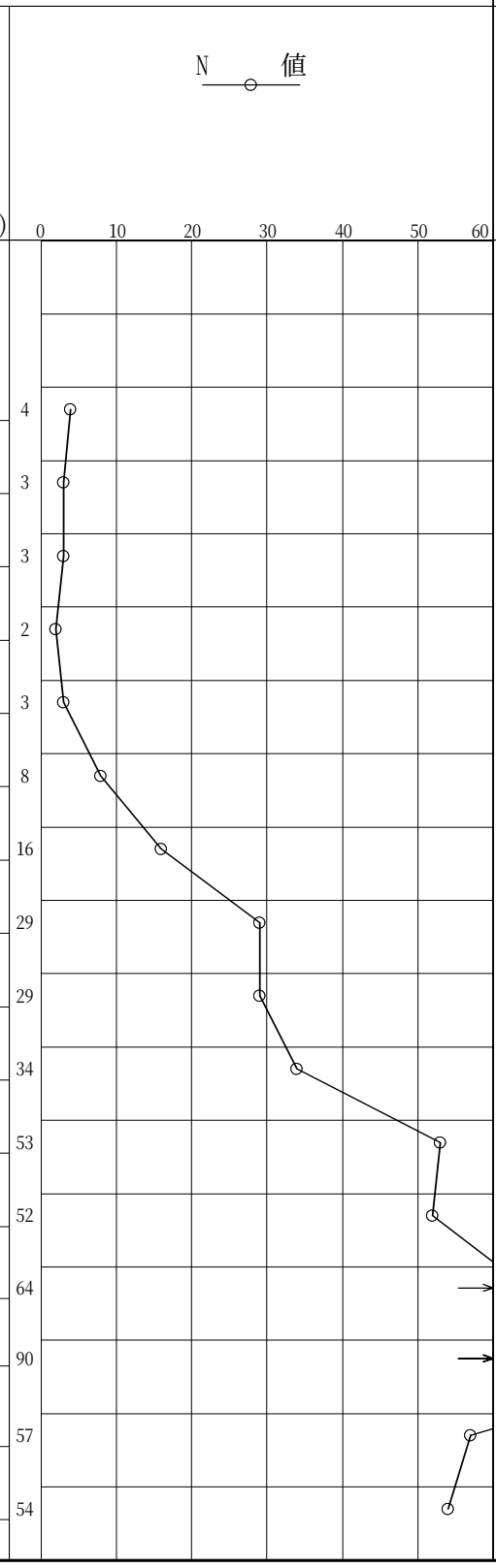
シートNo

ボーリング名	No.2	**調査位置**	千葉市中央区弁天3丁目地内外			**北緯**	
発注機関	千葉市都市局建築部営繕課			**調査期間**	平成 22年 2月 4日 ～ 22年 2月 5日	**東経**	
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	KBM -0.17m	**角度** 180° 上 90° 下 0° 0°	**方向** 北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配** 鉛直 水平0° 90° 0°	**使用機種**	**試錐機** ロータリー式オイルフィード	**ハンマー落下用具** 半自動落下
総掘進長	17.45m					**エンジン** 水冷式ディーゼル	**ポンプ** ピストンタイプ

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
1					埋土	暗茶褐			表層はインターロッキング舗装。深度0.8mまで砕石。以深、ロームを主体とする。砂が部分的に混入する。	
2	-2.27	2.10	2.10							
3					ローム	茶褐		軟らかい	全体に均質である。粘性中位～大位である。	
4										
5										2/4 5.64
6	-6.42	4.15	6.25							
7	-7.27	0.85	7.10		凝灰質粘土	褐灰		中位の	炭化物を混入する。砂分を多く含む。	
8	-8.02	0.75	7.85		粘土質細砂	暗褐灰	緩い		砂の粒径不均一である。含水中位である。炭化物を混入する。	
9					細砂	暗褐灰	密な～非常に密な		砂の粒径不均一である。含水中位である。	
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17	-17.62	9.60	17.45							

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
2.15	1	1	2	4/30	4
2.45 3.15	1	1	1	3/30	3
3.45 4.15	1	1	1	3/30	3
4.45 5.15	1/15	1/15		2/30	2
5.45 6.15	1	1	1	3/30	3
6.45 7.15	2	3	3	8/30	8
7.45 8.15	3	6	7	16/30	16
8.45 9.15	8	9	12	29/30	29
9.45 10.15	8	10	11	29/30	29
10.45 11.15	9	12	13	34/30	34
11.45 12.15	14	18	21	53/30	53
12.45 13.15	12	15	25	52/30	52
13.45 14.15	15	24	21/8	60/28	64
14.43 15.15	19	41		60/20	90
15.35 16.15	12	17	28	57/30	57
16.45 17.15	15	18	21	54/30	54
17.45					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
						2/4